

4年生

国語

国語の授業で、『一つの花』という物語文の学習を行いました。国語の学習では、特に子どもたちの感想や疑問を大切にしながら学習を進めているのですが、今回、子どもたちからは、「どうしてゆみ子が最初に覚えた言葉は、『一つだけちょうだい』だったのだろう。」「お父さんは、どうして一つの花を渡したのだろう。」など、様々な疑問が出てきました。学習では、「私が最初に覚えた言葉は、「美味しい！」だったよ。」「花を一輪だけ渡したのは、気持ちを込めたかったからだよ。」など、自分の経験に絡めながら登場人物の気持ちを探る子、叙述をもとに読み解いていく子など、子どもたち一人一人が一生懸命学習に取り組んでいました。

社会

社会の授業では、「水はどこから」という単元で、いつも使っている水はどこから届き、使った後はどこに行くのかについて学習をしました。授業の一環として、大和市の職員の方に下水道の出前授業を行っていただいたのですが、水道管の太さを予想するクイズでは、「はい！はい！」と元気に手を挙げていました。また、トイレットペーパーとティッシュペーパーを水に溶かし、どちらが溶けやすいかを調べる実験では、「わー！」と声をあげながら、食い入るように実験の様子を見ていました。子どもたちは、水を大切に使うために自分たちにできることを考えることができたようでした。

総合

総合の授業では、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、高齢者、妊婦について学習しました。視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、高齢者はビデオを見てどのような生活を送っているのか、どのような事が困難な事なのかを知るところからのスタートでした。子ども達は、初めて知ることが多かったようで、「町で見かけたらお手伝いをしたい。」「声をかけたい。」など、前向きな意見が多かったです。妊婦の学習では、出前授業として保健師さんにお話をしてもらったり、赤ちゃんの人形を抱きかかえたりしました。子どもたちは、実際に話を聞いたり、体験したりすることで、福祉についてより興味が出てきた様子でした。